

「第50回東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリー」を開催しました

8月5日、6日の2日間、東海三県のみどりの少年団員27名が一堂に集い、「第50回東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリー」を、奈良県宇陀郡曽爾村の「国立曽爾青少年自然の家」で開催しました。

今回は、7年ぶりとなる宿泊形式で、1泊2日の日程で開催しました。

1日目は、午後から開会式を行い、その後、参加者は4つのグループに分かれて活動プログラムに取り組みました。

まず、アイスブレイクで初対面の団員同士の緊張を和らげた後、「カードゲーム」、「森の中で元気がない場所で暗きよやしがらを使った環境整備」、「森の土のボーリング調査と間伐材丸太からコースターづくり」「森林散策とどんぐりの木のコケ玉づくり」の4つのプログラムに分かれ、それぞれ屋外や屋内で活動しました。

また、夜にはキャンプファイヤーを行い、**交流を深めるゲーム**などを楽しみました。団員同士も次第に打ち解け、仲を深めることができました。

2日目は、団員全員でプレイホールにて「木のスプーンづくり」に取り組みました。

まず、薪をスプーンの持ち手になるようさらに細く割り、形を整えながら、やすりを使って丁寧に磨いていきました。最後にスプーンの金属部分を取り付け、一人ひとりが自分だけの木のスプーンを完成させました。

思い通りの形になるまで何度も削ったり磨いたりしながら、団員たちは時間を忘れるほど夢中になって制作に取り組んでいました。

最後に、団員から2日間の感想を発表し、閉会式を行って解散となりました。「もう少しここにいたい」という団員もあり、今回のサマージャンボリーを通して団員同士の交流も深まり、夏休みの良い思い出になったことと思います。

岐阜県からは、海津市みどりの少年団の7名が参加しました。

今回の開催にあたり、引率者、カウンセラー、三重県の職員、国立曽爾青少年自然の家、愛知県・三重県の緑化推進委員会をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

来年は、岐阜県関市での開催を予定しています。県内からも、より多くのみどりの少年団の皆さんに参加していただけることを期待しています。

[公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆]



集合写真（みどりの少年団勢ぞろい）



森の散策（木や森を観察しよう）



こけ玉づくり（こけを丸くできるかな）



キャンプファイヤー（点火セレモニー）



木のスプーンづくり（うまく割れるかな）



木のスプーンづくり（ヤスリをかけて仕上げ）



海津市みどりの少年団とカウンセラーのみなさん